

議会だより

2016
11月

福島県中島村議会



◇第3回定例会・平成27年度決算・決算審査報告	2～3
◇補正予算	4
◇審議内容・行政報告	5
◇一般質問	6～8
◇常任委員会報告、議員研修	9
◇議会のおごき、編集後記	10



なかじまさん

平成27年度決算

復興に向けた取組みを認定

歳出決算額 29億6千6百万円

第3回 定例会



なかじま産直館きらっしえオープン式典(H27.10.15)

第3回議会定例会は、9月8日から15日までの会期で開催しました。今回は、報告1件、条例の一部改正3件、補正予算2件が村長から提出され、原案のとおり可決しました。

また、9月議会は、決算議会でもあり、平成27年度の一般会計及び特別会計7件の歳入歳出決算を認定しました。

一般質問では、3名の議員が登壇し、まち・ひと・しごと創生総合戦略と地域の高齢者対策、改善センターグラウンドの夜間照明の設置、川原田地内等の県道交差点の信号機設置など村の考えを問いました。

決算の あらまし

平成27年度は、仮置場造成工事をはじめ除染事業や風評被害対策、地方創生事業、子育て支援、教育の充実、高齢者対策など、積極的に事業に取り組む一方、財政の健全化に努めた。その結果、実質収支額は、3億5千6百万円となり、昨年度に引き続き黒字となりました。



決算審査結果

監査委員 大沢洋次郎
監査委員 小松 公雄

平成28年7月27日（29日までの3日間で平成27年度一般会計及び特別会計7件の決算審査をおこないました。

審査の総括意見としては、原発事故からの放射能対策、風評被害対策を進める中、各会計の歳入歳出決算はともに正確かつ適正に執行されていた。なお、次の点について簡記するので、十分検討のうえ、対処改善を望みます。

予算執行状況

中島村第5次振興計画に基づき、効果的に執行されているが、補助事業の関連で、翌年度繰越事業がいくつか

あったので、住民サービスの向上を考慮し早期事業の完成を望みます。

村税の滞納整理等

村税の滞納額は、前年度と比較すると減少傾向にあり、徴収の努力は認められる。白河地方広域市町村圏整備組合の滞納整理部門に徴収事務が一部委託され、滞納整理の効果は見られる。今後も未納者の状況を把握し、納税指導を強く進めていきたい。

不納欠損は、平成27年度は村民税について、欠損処分をしているが、税の公平な負担からも、今後は不納欠損処分に至らないよう努力していただきたい。

今後も最小の経費で最大の効果をあげられるよう、なお一層の努力をお願いします。

歳入決算額 33億6千7百万円

一般会計の歳入総額は、33億6千7百万円（前年度比約4%減）、歳出総額は、29億6千6百万円（前年比約4%減）、差引残額は4億45万円、翌年度に繰り越すべき財源は4千4百万円でした。実質収支額は、3億5千6百万円となりました。

○一般会計年度別決算比較

単位：千円 %

区 分	歳入額	歳出額	歳入歳出 差引額	翌年度に繰り 越すべき財源	実質収支	単年度収支	積立金	積立金 取崩金
平成27年度	3,367,011	2,966,561	400,450	44,366	356,084	11,335	1,853	100,000
平成26年度	3,504,328	3,105,752	398,576	53,827	344,749	▲ 15,730	1,625	200,000
差 額	▲ 137,317	▲ 139,191	1,874	▲ 9,461	11,335	27,065	228	▲ 100,000
増 減 率	▲ 3.9	▲ 4.5	0.5	▲ 17.6	3.3		14.0	0.0

○実質収支＝歳入歳出差引－翌年度に繰越べき財源

○単年度収支＝今年度実質収支－前年度実質収支

○一般会計目的別決算

単位：千円 %

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	伸 び 率
議 会 費	52,834	1.8	52,715	1.7	119	0.2
総 務 費	445,221	15.0	479,569	15.4	▲ 34,348	▲ 7.2
民 生 費	597,892	20.1	579,002	18.6	18,890	3.3
衛 生 費	703,443	23.7	740,089	23.8	▲ 36,646	▲ 5.0
労 働 費	2,159	0.1	2,050	0.1	109	5.3
農 林 水 産 費	335,041	11.3	309,699	10.0	25,342	8.2
商 工 費	16,712	0.6	20,498	0.7	▲ 3,786	▲ 18.5
土 木 費	119,193	4.0	118,337	3.8	856	0.7
消 防 費	136,231	4.6	147,008	4.7	▲ 10,777	▲ 7.3
教 育 費	305,344	10.3	418,583	13.5	▲ 113,239	▲ 27.1
災 害 復 旧 費	48,299	1.6	43,603	1.4	4,696	10.8
公 債 費	204,192	6.9	194,599	6.3	9,593	4.9
歳 出 総 額	2,966,561	100.0	3,105,752	100.0	▲ 139,191	▲ 4.5

○会計別決算

単位：千円 %

会 計 別	平成 27 年度		平成 26 年度		会 計 別	平成 27 年度		平成 26 年度	
	歳入額	対前年度 %	歳入額	対前年度 %		歳入額	対前年度 %	歳入額	対前年度 %
一 般 会 計	3,367,011	▲ 3.9	3,504,328	0.2	基 地 会 計	4,000	1.6	3,936	5.7
	2,966,561	▲ 4.5	3,105,752	▲ 0.5	特 別	174	▲ 36.0	272	▲ 55.5
国民健康保	677,639	14.3	592,654	▲ 6.4	農 業 集 落 排 水	243,204	▲ 2.6	249,677	▲ 34.4
険 特 別	670,086	14.8	583,511	▲ 2.8	処 理 事 業 特 別	239,845	▲ 2.3	245,390	▲ 34.3
簡 易 水 道	147,805	0.5	147,073	▲ 0.5	介 護 保 険	405,372	6.2	381,806	5.1
特 別	145,300	1.5	143,209	0	特 別	361,025	2.7	351,385	0.4
土 地 造 成 事	44,340	▲ 1.3	44,944	▲ 1.4	後 期 高 齢 者	39,888	8.6	36,740	8.2
業 特 別	600	▲ 0.7	604	▲ 8.5	医 療 特 別	39,518	8.2	36,518	8.9

青年就農給付金など1,229万円

の追加補正を可決

一般会計補正の歳入は、地方交付税1億2,479万円、国・県補助金等の増加補正と繰入金1億974万円、村債939万円等の減額補正でした。

歳出は、戸籍住民台帳費の個人番号制度の関連で195万円、農業費の青年就農給付金等で159万円、社会教育費で臨時職員賃金及び四穂田古墳出土品保存復元処理委託費で245万円の増額補正でした。



会計名	補正額	予算総額
一般会計	1,229万円	41億6,905万円
国民健康保険特別会計	804万円	6億7,891万円

新規就農者になったのは、浦原地区の有我さん夫妻です。農家経営をはじめたので、稲作を中心とした就農で意欲のある方です。前に村広報紙に家族経営協定の締結で掲載した方です。

青年就農給付金は、当初3件を計上、今年度1名が新規就農したことによる増額補正です。

答 企画振興課長

問 農業費の青年就農給付金の増額の理由は。



鈴木 新平 議員

質疑

四穂田古墳は、国の補助を受け、3ヶ年計画で復元処理を行っています。今年度が最終年度で完了になります。四穂田古墳の短甲は、文化財として価値があるとされ、国、県も指定に関心を示しているものです。このように価値があることから、保存にあたっては、県から湿気や照明、防犯などの整った施設で保管を適切に行うよう指導を受けています。今回の委託料の増額

生涯学習課長

答 生涯学習課長

問 教育費の出土品保存復元処理委託料の増額の理由は。



木村 秋夫 議員



※四穂田古墳の短甲（鉄のよろい）と出土品は、会津若松市の県立博物館で11月27日まで特集展で公開されています。



県立博物館で公開されている短甲

は、四穂田古墳から出土した短甲を含む出土品を本年度の村文化祭に展示し、村民の皆様にも見ていただくための展示ケースなど県立博物館からの搬送業務を新たに委託したく95万3千円を補正するものです。

国全体の交付税総額が不足すると予測したときに、国は地方債（臨時財政対策債）の発行を認めます。今回の場合は、地方交付税1億2千478万8千円が増額になったことから、臨時財政対策債939万9千円が減額となるものです。

総務課長

答 総務課長

問 村債「臨時財政対策債」の減額の理由は。



椎名 康夫 議員

議決された条例

◆中島村税条例等の一部を改正する条例

平成28年度地方税法等及び所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係規定の整備等を行うための改正です。

審議結果 原案可決

◆中島村税特別措置条例の一部を改正する条例

減収補てん制度に係る平成28年度省令改正に伴い、関係規定の整備等を行うための所要の改正です。

審議結果 原案可決

◆中島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成28年度地方税法等の一部改正する法律の施行に伴い、関係規定の整備等を行うための所要の改正です。

審議結果 原案可決

村長行政報告

中体連3部活が 県大会へ

6月には、中体連県南大会が開催され、中島中学校の各々が日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱戦を繰り広げました。その結果、

卓球男子は、団体、個人ダブルスの3部門で優勝、ソフトボール女子とバレーボール男子が準優勝を果たし、県大会へ出場しました。

卓球男子の団体は、その後、東北大会に出場するなど、その活躍は見事でした。

交通安全テント村

7月には、「交通安全テント村」が県道棚倉矢吹線の二子塚地内で交通安全団体の合同に

より、ドライバーへ交通安全の呼びかけ運動が行われました。

森林再生事業

ふくしま森林再生事業は、民間林の間伐等の森林整備と土砂流出防止対策による森林の多面的機能維持、放射線低減対策を行う事業で滑津原地区を実施中です。平成28年度分についても、間もなく発注予定です。



大活躍した卓球部の皆さん



安全運転を呼びかける役員の皆さん

3地区で狭あい 道路整備

社会資本整備総合交付金事業の狭あい道路整備は、岡ノ内地区については、測量設計を発注し、入江、羽黒前地区は、改良工事に向け、土地売買契約、補償業務を進めています。

松崎消防屯所 新築工事も発注

建築工事では、児童館新築工事も起工式を行い順調に推移しています。また、松崎消防屯所新築工事も発注し

たところ です。

除染に関する事業

除染に関する事業は、8月に元村から松崎について、生活圏の森林除染を発注しました。事業所関係の除染は、発注に向けて、事前の測定データの整理中で間もなく発注予定です。



狭あい道路設備の入江地区





小林 均 議員

問 少子高齢化の中で、
高齢者の健康寿命の対策は？

答 地域住民活動による
健康サロン・介護予防を支援したい。

問 中島村まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されたが、基本目標4の「健康で安心して暮らせるまちづくり」の取組みと健康寿命の対策は。

答 村長

総合戦略は、「移住定住支援」「子育て支援・教育環境の充実」「しごととの支援、創出」「健康で安心して暮らせるまちづくり」の4つの基本目標を掲げ、施策を展開したい。

「健康で安心して暮らせるまちづくり」では、自主防災の意識の醸成、健康づくり、介護予防、生きがいづくりなどに取組みたい。高齢者の健康寿命の取組みは、健康サロン等、地域住民活動の基盤となる母体づくりや地域交流拠点づくりの実活動を支援したい。

一般質問

次に、リハビリ・フィットネス型施設を利用した健康づくり、介護予防、リハビリ等を支援する事業です。トレーニング施設を利用し、運動指導員による効果的なトレーニングを実施する。

また、健康推進員の活動や介護予防健康教室等を実施し、健康で生きがいを持って暮らせるよう健康寿命の延伸を図っていききたい。



グラウンドゴルフを楽しむ高齢者

問 地域のグラウンド等を活用した高齢者の交流の場をつくる考えはあるのか。

答 村長

高齢者の地域交流の場の確保は、大切なこととです。

地域のグラウンド等を使い、高齢者の交流拠点づくりに活用したいということであれば、村としても支援していきたい。



防護網による対策

小動物による農作物の被害対策

問 ハクビシン等の小動物による野菜等の農作物による被害対策は。

答 村長

カラスやスズメ、ハクビシン等は、法律により、明確な被害がない限り捕獲、処分ができない。

村では、法律に基づき、捕獲頭数や区域、捕獲時期を定め、駆除を委託し、対策を講じている。しかし、夜間に行動する小動物は駆除が困難で効果があげられない。現在のところハクビシンの捕獲、駆除について有効な方法がなく対応に苦慮しているところとです。



小室 辰雄 議員

問 改善センターグラウンドに
夜間照明設置の考えは？

答 今年度に施設改修基本設計を作成
「夜間照明も検討課題」！！



問 村民から夜間照
明の要望があるが、そ
の考えは。

答 過去2年間の利用状
況平成26年度利用件数
は、148件、利用者
数8千841人です。
平成27年は、83件、利
用者数6千460人で
す。利用団体は、スポー
ツ少年団、体育協会、
消防団等です。

問 改善センターグ
ラウンドの年間利用状
況は。

答 教育長

答 教育長
改善センター周辺を
地域住民の活動拠点と
して、より安全・安心
な施設に改修してい
くとともに、利用者の
ニーズに対応した総合
的な整備のあり方を検
討していただく、「教
育環境等整備検討委員
会」からのご意見を参
考に、基本設計を作成
することになっています。
この検討会におい
て、グラウンドの夜間
照明設置も検討課題の
一つにあげることにし
ています。

一般質問

問 水道事業で現
在、稼働している建物
設備、また、休止して
いる建物設備の場所
は。

休止している水道施設
の管理状況は。

稼働している施設
は、迎久保にある浄水
場や第3配水池、第3
水源です。施設管理は、
有資格業者に委託し、
点検管理を行っていま
す。稼働していない施
設は、岡ノ内前の旧配
水池、第1、第2水源
及び大泉坊、迎久保に
ある送水池、第2配水
池があります。岡ノ内
前の旧配水池は、水道
関係等の資材置き場と
して利用している。

答 村長



旧配水池(岡ノ内前)

問 岡ノ内前の配水
場の設備を撤去し、有
効活用ができないか。

答 村長

水道施設で使用され
ていない施設がある。
今後、廃棄等も含めて
検討していきたい。

村所有の建物設備の
管理状況は。

問 村所有の建物の
点検、整理、管理は適
切に行っているか。ま
た、どのような体制で
行っているか。

答 村長

法に基づき建築士に
より定期検査を実施

建物の管理は、各担
当課で実施していると
ころです。建築基準法
第12条に基づく特殊建



物に該当する建物は、
建築士による定期検査
が義務づけられていま
す。その結果は、県に
報告すると共に、建物
や設備の異常による事
故を事前に防止するた
め、検査結果により、
維持補修を実施し、建
物や設備の安全維持に
努めている。
法第12条に該当しな
い建物は、不定期に担
当課において、維持点
検を実施している。異
常箇所については、修
繕を行っている。



小室 重克 議員

問 マイタウン前十字路と川原田十字路の信号機設置は。

答 マイタウン前十字路の早期設置は困難
川原田十字路は車両感応式信号機が年内設置予定

問

マイタウン前十字路は、吉子川小学校の通学路にもなっている。通勤・通学等による交通量も多く、一日も早い信号機設置が望まれるが。

答

村長

信号機設置の権限は、県公安委員会にあります。村としても再三要望しているが、マイタウン前については、その実現には至っていない。

今回の事故発生を受け、その直後に緊急会議が開催され、会議に出席された白河警察署長、県交通規制課担当者に対し、信号機設置を強く要望しました。

総合的に勘案して優先順位を決定

設置するためには、県全体の道路交通量や

一般質問



マイタウン前十字路

危険度の度合い等を総合的に勘案して優先順位を決定するため、早期設置は困難という回答でした。
しかし、今後も設置に向けた要望活動を続けていくと共に、村交通安全協会や関係機関と連携し、交通事故防止に努めたい。

問

昨年12月定例会において一般質問した川原田十字路の信号機の要望について、白河警察署、県公安委員会に出向いた折に、良い回答をいただき、信号機はそう遠くない時期に設置されるであろうと答弁があった。信号機設置に向けての進捗状況は。

答

村長

川原田十字路の信号機設置については、車両感応式信号機の設置が正式に決定し、遅くとも年内には設置されるという知らせが、先ごろ白河警察署長より私のところに連絡がありましたので、ご報告申し上げます。



問

農協の方から出ると本当に出づらい。白河方面に歩道が設置されると確認しやすくなるのでは。

答

村長

交通事故を減らすには、どういった施策が必要なのか。村も十分検討し、県へ要望するところがあれば要望する。



車両感応式信号機が設置予定の川原田十字路

常任委員会報告 総務教育常任委員会

総務教育常任委員会へ付託のあった請願1件について、9月8日に委員会を開催し、内容を審査しました。
また、意見書については、関係機関に提出しました。



筋力スマイル教室の様子

◎審議結果

件名及び要旨	請願者	審査結果	意見
介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書を提出することを求める意見書	石澤 司郎	採 択	願意妥当

8月26日西郷村商工会館において、西白河地方議会議員研修会が開催され、本村議会議員も参加しました。
研修会は、時事通信社特別解説員「田崎史郎氏」を迎え、「時局展望」と題しての講演でした。その内容は、参議院選挙の結果、天皇

◆議員研修 「西白河地方町村議会議員研修会」



講師は田崎史郎氏

の退位、安倍政権、自民党総裁選を題材としたものでした。
安倍政権の今後の課題では、憲法改正、経済問題、ロシアとの領土問題など課題は山積している。政権、政治のむずかしさを時折ユニモアを交え、有意義な研修でした。

◆議員研修 「町村議会議員研修会」

講師は 読売新聞東京本社編集局企画委員 青山彰久氏
産経新聞社編集局政治部長 石橋文登氏

10月31日郡山市「ビッグパレットふくしま」において、町村議会議員研修会が開催され、全員で参加してきました。
青山氏は、地方創生と地方議員の役割と題しての講演でした。地方創生は国の目線ではなく、住民のための目線の取組みが必要。地方議会は、住民と一

緒に地域政策に取り組まれる議論が必要と話していました。
また、石橋は、これからどうなる政局・政治と題しての講演で、衆議院の解散は有力視されている。政治の行方は、安保法、中国の問題、北方領土等の課題があると話していました。



議員研修の様子

議会のうごき	
8月 10日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
10日	・定例町村議長会(白河市)
13日	・ふるさとみんなの夏まつり(川原田)
15日	・元村豊年盆踊大会(元村)
24日	・福島県町村議会議長会正副議長研修会(福島市)
25日	中島村児童館新築工事起工式
26日	・西白河地方町村議長会議員研修会(西郷村)
9月 1日	・議会運営委員会
8~15日	・第3回議会定例会
10日	・第10回市町村対抗福島県軟式野球大会激励会
21日	・中島村敬老会
24日	・中島幼稚園運動会
25日	・平成28年度県南地方総合防災訓練(鮫川村)
10月 4日	・交通安全・防犯パレード(滑津小)
5日	・第3回市町村対抗福島県ソフトボール大会激励会
15日	・なかじま産直会きらっしえ 1周年記念式典
16日	・2016 なかじまの里スポーツフェスティバル
21日	・マレーシア イナナムセカンダリースクール生徒受入歓迎会
23日	・中島村消防団秋季検閲 ・白河文化交流館コミネス開館記念式典(白河市)
24日	・主要地方道棚倉矢吹線整備促進協同期同盟会要望活動(福島県庁)
31日	・町村議会議員研修会(郡山市)

○9月21日
中島村敬老会



○9月24日
中島幼稚園運動会



○10月4日
交通安全・防犯パレード



○10月15日
産直館「きらっしえ」
一周年記念式典
餅まきの様子



○10月16日
スポーツフェスティバル



議会を
傍聴してみませんか



議会傍聴の手続きは、住所・氏名等を記入するだけで済みます。ぜひお出かけください。次の定例会の開催は、12月上旬の予定です。詳しくは、議会事務局に問い合わせください。

編集後記

なかじま産直館「きらっしえ」がオープン一周年を迎えた。構成員も約50名となり、朝どりの新鮮野菜や果物・食品加工など来場者に好評を得ている。鈴木隆館長みずから開発した「なかじぞうバーガー」は、売れ筋1位で午後からでは売り切れも多いたか。よかつべ時計の音色を聴きながらゆつくりパーガールをほおばる、至福のひと時を迎えることができる。公園内は、散歩、ジョギング、子供の遊び場で大勢の方々に親しまれている。間伐材を利用して歩道にチップを撒き足の負担を軽減しないよう工夫整備されていて、特にランナーには絶好の練習場となっている。来年は、公園開園20周年の節目の年となる。オンラインの直売所、公園づくりを期待したい。

広報編集委員 小室重克